

CONTENTS

大阪消防 3

表紙：緊急消防援助隊による
安否不明者の搜索活動

01：コンテンツ／災害概況	24：We are Rookies!
02：令和6年能登半島地震における 緊急消防援助隊大阪府大隊の活動の様子	26：大阪の消防NEWS
04：特集 次代につなぐ	28：救助工作車がかっこええん車
09：正機関員への道	29：望楼探訪
10：Advance of Rescue	30：市民表彰／救急安心センターおおさかだより
12：突撃取材!ウチはこんな訓練やってます!	31：落語DE火の用心
14：UPDATE	32：自衛消防隊紹介／女性防火クラブだより
15：ザ安全管理	33：現場に活かす!救急救命士国家試験問題
16：消防士の品格	34：【職務】予防課地域防災担当のお仕事を紹介!!
18：救急いろは	36：大阪市消防局における受託研修レポート
20：実録!!調査鑑識	38：親睦会だより
22：見てみて!各都市の消防車	39：アニマル環状線／編集後記
	40：年間索引

大阪市の災害概況

◎火災概況

	建物火災				小計	車両	船舶	爆発	その他	合計
	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
1月中件数	0	0	14	37	51	6	0	1	4	62
令和6年 1月末累計	0	0	14	37	51	6	0	1	4	62
令和5年 1月末累計	4	4	19	39	66	0	0	0	1	67
累計比較	▲4	▲4	▲5	▲2	▲15	6	0	1	3	▲5

◎救急概況

	救急出場
1月中件数 (概数)	23,561
令和6年 1月末累計	23,561
令和5年 1月末累計	22,464
累計比較	1,097

◎火災・救急以外の消防活動概況

	救助活動	危害排除	水防活動	その他の 消防活動
令和6年 1月末累計	392	100	0	81
令和5年 1月末累計	375	86	0	117
累計比較	17	14	0	▲36



5巡目派遣 1月18日 安否不明者搜索活動 (河井町)

大規模な火災が発生した輪島市朝市付近での安否不明者の搜索活動。



6巡目派遣 1月23日 搜索活動 (市ノ瀬町)

1月23日時点で市ノ瀬町での安否不明者は1名。重機や隊員を総動員し、搜索活動を継続。

令和6年能登半島地震における緊急消防援助隊大阪府大隊の活動の様子

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震に対し、大阪市消防局は、総務省消防庁長官から緊急消防援助隊大阪府大隊として出動要請を受け、直ちに派遣隊を編成して大阪府内の各消防本部と共に石川県輪島市に向け出発しました。今月号では、3巡目派遣から6巡目派遣(1月9日～1月25日)の活動の様子を写真でご紹介いたします。



3巡目派遣 1月10日 消火活動 (市ノ瀬町)

安否不明者の搜索活動に加え、輪島市内で発生した火災・救助・救急などの災害にも出場。



4巡目派遣 1月13日 安否不明者搜索活動 (市ノ瀬町)

1月3日から搜索活動を継続している消防車両が寄りつけない市ノ瀬町の活動サイトに徒歩で移動。4巡目以降は、部隊を増隊して活動を継続。

次代につなぐ

自慢話になってしまいましたが、様々な分野で懸案の解決や新しい取組など、少しは胸を張れる仕事ができたと感じています。当然どの仕事も自分の力だけで成し得た訳ではありません。上司、先輩の温かいご指導と同僚、部下の支えがあったからこそと感謝しています。が、自分の姿勢も少し褒めてやりたいと思います。

まず、自分の仕事に疑問を持ち、常に効果的な事業推進を心掛けました。また、課題にぶつかった時に考えるのは「市民が求めるものは何か？」です。前例にとらわれず、ゼロベースからスタート。時には変革も伴い、困難にぶつかりますが、市民の要請に応えるという姿勢を崩さなかったので、実現することが出来たと考えています。

一つひとつ困難を乗り越えるうち、自信にもなりましたし、辛い仕事が逆に喜びに変わっていったように思います。自分の矜持は、この市民目線と変化を恐れない姿勢ですが、そういう気持ちにさせていただいた消防という仕事に心底、感謝しています。

後輩職員の皆さん、消防という仕事はどの分野、どんな仕事でも市民の安全に繋がる本当に素晴らしい仕事です。その仕事に携われることに喜びとやりがいを感じ、何事にもチャレンジすることをお願いいたします。

自分の中ではまだまだやり残したことがたくさんあると感じていますが、それは後輩職員の皆さんに託します。皆さんの新しい感性、次代を見据えた取組で、大阪を安全・安心なまちにしていけると期待しています。

最後に、消防という仕事に携われたこと、皆さんと一緒に仕事ができたと感謝いたします。本当にお世話になりました。

ありがとうございました。



経験、思う・学ぶ・備える

警防部長 消防正監
藤田吉仁



はじめに、たくさんの人に支えられ無事退職できることに感謝します。最高の仲間に出まれ、本当に幸せな消防人生でした。

この度、職員の皆さまに私の思いを伝える機会をいただきましたことに感謝します。私が消防人生を通して感じたことや先輩から学んだことを綴らせていただきますので、たった一つでも感じていただければ幸いです。

消防人生を振り返りますと、一番思い出すことは、やはり災害現場対応です。大阪市内における数々の火災や事故のほか、海外や国内の大規模災害にも出場しました。大規模災害では、惨状や多くの悲しみを目の当たりにするなかで、時には自分が思うような活動ができず悔しい思いをしたことは、今も心に残っています。

【略歴】
S57.04 消防学校入校
S57.10 東成消防署
S63.10 東住吉消防署
H03.05 (国際緊急援助隊の派遣)
 バングラデシュ
H06.10 北消防署
H08.10 警防部救助課兼務
H09.04 警防部計画課
H13.04 警防部計画情報課
H16.04 住之江消防署担当司令
H17.04 住之江消防署救助司令
 兼警防部警防課担当係長
H18.04 消防局総務部人事厚生課
 担当係長
H19.04 消防局総務部担当係長
 (職員委員会)
H20.04 消防局警防部担当係長
 (警防担当)
H22.04 消防局消防学校担当係長
H24.04 中央消防署副署長
H25.04 消防局総務部副参事
H25.04 松原市派遣
H27.04 消防局総務部総務課副課長
H28.04 消防局警防部警備方面隊長
 兼指令管制業務担当課長
H29.04 消防局警防部司令課長
H30.04 消防局救急部救急課長
H31.04 消防局企画部企画課長
R02.04 生野消防署長
R04.04 北消防署長
R05.04 消防局警防部長

変革・・・次代に託す

消防次長 消防正監
奥中 忍



今回、このような寄稿の機会をいただいたことにまずは感謝を申し上げます。今、本誌への寄稿にあたり、これまでの消防人生を振り返っていますが、採用当時に想像していた消防という仕事とは随分違う道を歩んできたなとつくづく感じています。

体力には自信があったので体を使う仕事という安易な志望動機で就職しましたが、普通思っ描く消防士のイメージ＝災害現場対応は、37年間の消防人生のうちのわずか6年。それ以外は、局、署などでの毎日勤務でした。

救助、企画、査察、人事、施設、消防学校、府危機管理室、救急、予防・・・消防司令補1年間の救助隊勤務以降は、すべてが毎日勤務。人事異動の度に経験したことが

ない仕事ばかりで戸惑いながらも、がむしゃらに取り組みました。加えて、運がいいのか配属された所属では都度、様々な課題に直面。苦勞しながらも何とか乗り越えたというのが正直な感想です。

主な取組実績を列記しますと、警防では、阪神淡路大震災後の特別救助隊の創設、大阪市として初めて救助工作車、高度救助資機材を整備。予防では、新宿歌舞伎町火災後、初代違反是正推進担当主査として多数の違反処理を実施。また、違反対象物の公表制度では、全国で唯一、防火管理者の未選任を公表対象とする火災予防条例の改正。北区ビル火災後のセルフレスキューコーチング事業や行政手続きのオンライン化の推進。施設では、長年の懸案だった松虫公舎跡地問題の解決や東日本大震災後の自家給油設備等の浸水対策に着手。救急では、新型コロナ感染症への対応、救急体制の強化など。

【略歴】
S62.04 消防学校入校
S62.10 北消防署
H04.10 警防部救急救助課
H08.04 警防部救助課
H09.10 大正消防署
H10.10 総務部総務課
H14.10 北消防署違反是正推進担当主査
H16.04 消防局総務部人事厚生課担当係長
H18.04 消防局総務部施設課担当係長
H18.10 消防局総務部施設課総括係長
H19.04 消防局消防学校担当係長
H22.04 消防局総務部副参事
 (大阪府派遣)
H24.04 消防局総務部施設課長代理
H25.04 消防局予防部予防課長代理
H26.04 消防局予防部査察担当課長
H27.04 消防局企画部企画課長
H29.04 淀川消防署長
H31.04 北消防署長
R03.04 消防局救急部長
R04.04 消防局予防部長
R05.04 消防次長

「大阪は、誰もが躊躇するような場所や状況でも、先陣を切っていけ。」
「大阪は、浪花節や。利益や損得、お金で動かず、義理、人情で動け。」
「応援は、地元（被災者）に寄り添うことに尽きる。自己満足や面子、見栄ではない。」
私が尊敬する先輩から教えられたことです。

この想いを胸に一心不乱に活動したことが昨日のこのように思い出されます。
被災者の方々に何ができたのか？被災地に何を残せたのか？自問自答したことも沢山ありました。
数多くの経験をさせていただいたなかで、私が災害現場活動で一番大切だと感じたことは、一言で「被災者に寄り添う」ことです。災害現場活動は、訓練のように知識や技術を披露する場所ではありません。これから災害現場活動に従事される皆さまには、いついかなる時も被災者を想い、優しさと想いやりを忘れない消防人であってほしいと切に願います。

また、業務の面でもいろいろなことを経験させていただきました。
今ではなくてはならないANSINシステムですが、約20年前、全国初のGPS機能付きの消防車による直近隊編成として、運用開始から携わらせていただきました。

当初は、運用開始してからもなかなかうまくいかず、担当として2年間ほど試行錯誤の日々が続きました。「ANSINが必ず災害の被害軽減に繋がる」ことを信じて、一生懸命に働きました。この経験を経て、消防の仕事は災害現場で直接活動することだけでなく、すべての業務が人命救助や被害の軽減、被災者のために繋がっていることを強く感じました。

消防の仕事は、如何なる業務も「世のため人のため」になっています。
人間として生きがいにするに足る職業であるということです。



しかしながら、消防人生のなかでも、希望する職種につけないことや思い通りにいかないことも沢山あります。時には大きな壁にぶつかってしまうこともあるでしょう。でも、どのような仕事・役割であっても、持ち場、持ち場で世のため人のためになっているということを決して忘れないでください。自分の任せられた仕事に誇りを持ち、意気に感じて仕事をしてもらいたいです。

消防の仕事は世のため人のためであって、消防という職場で努力するという行為そのものが、皆さまの人生を生きるに値するものしてくれる、幸せにしてくれるということを今の私は胸を張って言えます。

私には消防司令補時代から理想とする先輩がいました。私はその人を目指し、少しでも近づけるようにと頑張りました。しかし、ある時気づきました。真似をしても、その人にはなれないと。私は私であると。私にしかできないことや方法があると。自分と他人を比較しても仕方がない、何にもならないと。自分らしく、自分の考えで進もうと。

皆さんには、それぞれの個性があります。
その人にしか気づかないことがあります。
その人だからこそ、できる仕事があります。
自分らしい個性を大切にしてください。
個々を尊重し、そして仲間を大切にしてください。
自分以外の人を信じられる人であってください。

「人生の豊かさ」は、他人と共有する思い出の多さによって決まると思います。「人生の豊かさ」は何かと考えたとき、金銭とか地位・名誉と言う人もいます。それも一つの考え方であるので、頭から否定はしませんが、我々は公務員ですので、莫大な富を仕事で得ることはできません。これからの消防人生において無限の可能性を秘めており、努力して、仕事も勉強もして、地位あるいは名誉というものを目指すこともあってよいと思います。

しかし、私はこれまでの消防人生を振り返り思うことは、「人生の豊かさは、他人と、つまり同僚あるいは部外の人たちとも、多くの思い出を共有したことにある」と思っています。
人との出会いを大切に、仲間と共に進んでいってほしいと思います。

皆さんには、未来があります。無限の可能性があります。仕事に向かって懸命に努力すれば、必ず感動に震える瞬間があります。「共に戦う友」との出会いもあります。社会に貢献していると手ごたえを感じる機会もあります。それらが皆さんの人生を豊かで「幸せ」なものにします。そういう職場で働いているということを中心に据えて、市民の安全・安心の確保のために頑張り、そして、自分を大切に生きて行ってください。

最後に、新しい時代を作るのは、みなさんです。
特に若い方たちへ。

消防のために若者たちが自由に発想し、意見し、変化していける組織こそが真の強い組織であるといえます。だから、我儘であってください。いかに自分らしく生きるかを考えてください。
未来は君たちのためにあるのです。



天職を振り返る

生野消防署長 消防正監 高橋 卓司



【略歴】
S57.04 消防学校入校
S57.10 平野消防署
H04.10 水上消防署
H09.10 此花消防署
H14.05 総務部施設課
H16.05 総務部総務課
H19.04 水上消防署救助担当司令
兼警防部担当係長
H21.04 消防局総務部主査
(大阪市消防振興協会派遣)
H23.04 消防局総務部総務課担当係長
H25.04 生野消防署副署長
H26.04 消防局警防部司令課警備方面副隊長
H29.04 中央消防署副署長
H30.04 消防局警防部警防対策担当課長
R02.04 消防局総務部施設課長
R04.04 生野消防署長

私は11月9日生まれで、誕生日が総務省消防庁の制定した「119番の日」です。
何気なしに入ったこの世界であります消防人生が終わってみると「正に天職」だったので退職にあたり振り返ってみたいと思います。

42年前に大阪市消防学校の門をくぐりましたが、今の若い人のように「消防士になるぞ」という熱い気持ちで入ったわけではなく、火事を消しに行く位しかわかっていない程度で消防局に採用され、振り出しは平野消防署、当時火災や救護も多く20歳前から救助隊員に乗せていただき、訓練では障害突破で全国大会にも出場できましたし、現場に行くという充実感が楽しすぎて10年も昇任せずに勤務してしまいました。

士長に昇任し水上Rで潜水救助に携わり、この頃は岸壁からの車の転落事故が多く潜水救助で車内からの救出に苦労したことや、阪神淡路大震災の時に海上ルートでゆめしま艇長として職員の搬送業務を担ったこと、船舶火災でエバートラスト号が燃えながら大阪港にやってきたことは強烈な思い出です。

司令補で此花CRに、この頃建設されたユニバーサルシティ関連のお披露目訓練計画作成やユニバーサルシティや周辺施設の完成検査に同行し最新の消防設備を見て回れたのは良い経験でした。

平成14年4月に大きな転機が訪れ初めての日勤。

隔勤を20年してからの施設課営繕担当着任でしたが、DIYや車・バイク・PCなど機械ものの弄りが好きだったので直ぐに馴染んで新たな自分の居場所を見つけた瞬間でした。

2年後総務課計理担当に異動となり、局の全体がどのように動いているのかを知り、対外的な交渉で立腹することもありましたが、事業課の思いを如何に効率よく予算建でするかという仕事に大きな充実感・達成感を覚え、自分が消防局を回しているという錯覚から、最強の消防司令補(笑)だと思っていた時期でした。

正機関員への道

災害が発生すれば、いち早く、安全確実に駆け付けける消防車両。鼓動が高まる車中で、常に冷静沈着に運転する『機関員』。そんな消防車両の運転に従事する『機関員』は、日頃からの出場経路の研鑽はもちろんなこと、いち早く現場に駆け付けるまでのこだわりが皆さん！
このコンテンツでは、そんな『機関員ならではの』のこだわりをご紹介します！



西淡路出張所

こだわり1 ～出場準備編～

西淡路出張所は新大阪駅に程近い東淀川区の西端に位置し、隣の淀川管内への災害出場が特に多いという特徴があります。指定消火隊は資器材が多く車内が狭くなりがちなので、各自積載位置を工夫しスムーズに出場体制がとれるようにしています。安全を確保したうえで、より迅速に現場到着することを考え、災害点の確認はまず機関員のみで行い、着装しながら指令内容を読み上げ、隊で情報を共有します。特に救助事案では階数や施設状況などで準備する資器材も変わるため、確実に情報を伝えるように心掛けています。

氏名	高橋 優太	マイソウルフード	写真
所属	東淀川消防署		
小隊	西淡路指定消火隊		
H17. 4	採用		
H17. 10	東淀川消防署 消火隊		
H20. 4	淀川消防署 消火隊		
H27. 10	平野消防署 指定消火隊		
R 3. 10	東淀川消防署 指定消火隊		

こだわり2 ～緊急執行編～

緊急執行時は事故無く現場到着することは当然として、プロである以上は法令を守りつつ出来るだけ迅速に駆け付けることを意識して運転しています。迅速な現場到着のためには周囲の車両や歩行者のより完璧な状況把握が必要となり、結果として、緊張感のある安全な運転に繋がると考えています。また、小隊長には走行経路を早めに伝達し、一般車両の避譲を促してもらうと同時に、自身は、自車両を他車両から認識されやすい位置に持つていくようにしています。

一般車両に早めに避譲してもらうことにより走行スペースを確保出来、減速の少ないスムーズで安全な緊急執行がしやすくなります。

走行中にはコメンタリードライヴを行いつつ、走行経路や詳細な災害点、同時出場車両の寄り付きを確認するなど常に会話することを心掛けています。現場到着までに出来る限り疑問点を解消し、活動に関するイメージを作り上げ、それらを隊で共有できるように意識しています。

こだわり3 ～一般走行編～

一般走行時は常に見られていることを意識し、手本となるような綺麗な運転を心掛けています。また、管内の狭隘道路は積極的に走行訓練し、障害物等による走行障害が発生していないかを確認しています。

目的地へは様々なルートを利用するよう心がけ、その中で目標となる対象物を確認したり、危険箇所を隊員と共有するなどし、現場活動に活かしています。



狭隘道路走行訓練

良い活動ができる隊は、車内も良い雰囲気。適度な緊張感と同じくらい、適度な笑顔も重要。運転の邪魔にならないタイミングで何のことはない(しょうもない)話題を振り、4人で笑って会話できる時間を作ることを心がけています。

小隊長の役割も重要

今月の 交通事故防止基準 点検等の励行

乗組員は、交代時の引継ぎ及び使用前点検を確実にを行うなど、車両の機能保全に努めること。

機関員に聞く！

東淀川区西部は高架化されていない線路が多く、踏切待ちによる到着遅延が頻繁に発生するので、災害時は連絡を取り合い臨機な対応が必要です。また、全域において道路が斜めに走っており方向感覚が掴みにくい上に狭隘道路も多いため、機関員の技量が問われる大阪市内屈指の走りがいのある町です。

東淀川区、ここに注意しーや！



平成19年に水上特別救助隊長を拝命し「鉄腕ダッシュ」のソーラーカーの旅、赤井英和さんと「週末の羅針盤」、吉本のスマイルの番組と3本のテレビ撮影、Jレスキューで水難救助を取り上げてもらい、消防局の第2広報担当として水上消防署一丸となっていたのを思い出します。

平成21年に振興協会へ出向したときは、新公益法人になるべく「公益認定法」や「整備法」の勉強をしていた事を思い出します。この2年間は色々な事が起こり、今から考えると消防人生で一番ハードだった時期でしたが後の計理係長時代は、セイバーミライに携わり、葛飾区立石の旧トミカ本社へセイバーミライ作成のお願いに行ったり、黒門市場へスーツアクターの皆さんとセイバーミライのPVを撮影に行ったり、時の瀬尾庶務主任と福島区のカーディーラーにFJクルーザーの寄付を受ける調整に行ったり、ミニ消防車551号やバジェロの寄付の調整をするなど楽しい時代を送っていました。

生野消防署警防副署長時代は1年で第3出場の火災を3回経験し、警部方面副隊長時代は、伊勢志摩サミットでプラザ21現地指揮本部長として初期から志摩消防のアドバイザーとしてかわり、現在も志摩市消防や津市消防の皆様と繋がりががあります。

その後、警防対策担当課長の時には平成30年7月豪雨時に最終派遣前に指揮支援隊長として広島へ、また台風21号の襲来やG20大阪サミットでは首脳会議場現地警戒本部長として関わり、ヘリコプター「おおさか」号の更新事業や航空隊の安全管理に伴う人員増の交渉など盛りだくさんの2年間でした。

施設課長としては、懸案の中川出張所の移転建て替え・航空隊庁舎の建て替えの了承を市議会からいただき、新型防火衣の導入など署員の皆さんが喜ぶ事業ができたかなと思っています。

消防人生の半分は災害現場活動に携わり、救助隊員として火災救助、潜水救助、化学災害対応救助など経験させていただき、その経験をフィードバック出来た隔日勤務の警防人生。

もう半分は総務部での経験を基に消防局のため災害現場で活躍する職員をバックアップし気持ちよく仕事をして貰うために頑張ってきた日勤生活であり、現場活動での充実感・達成感と、それとは一味違う組織運営に対する充実感・達成感の双方を経験できたことは私の人生において貴重な経験・財産になりました。

最後は生野消防署長としての重責を担わせていただき、職員と楽しく話をし、地域の皆さんとも交流して本当に毎日楽しく勤務できたことは感謝でしかありません。本当にありがとうございました。

こうして振り返ってみると、入局した頃には考えもしなかった仕事に携われ、沢山の人の関わりを持つことができ「幸せな消防人生で正に天職だったなあ」と。

最後に後進の皆様に楽しい消防人生を送る秘訣を伝授します。

簡単な意識づけの話で「できない理由を考えるのではなく、どうすればできるのかを考えろ」を肝に銘じて「成功したイメージ」を頭に描きぜひ前向きな姿勢で、楽しく日々の仕事や普段の生活に取り組んでいってください。また良い運や良い人の巡り合わせ(縁)はポジティブシンキングができる人に多くついてきます。体力的にも精神的にもしんどいことは沢山ありますが、この気持ちを忘れなければ乗り切れます。

私の大好きな大阪市消防局という組織がこれからも益々発展するよう、また大阪市消防局職員の皆様の今後のご活躍ご多幸を心からお祈りいたします。

